

## 後期第2回授業録

\*ルアンサック先生講演会 2013年11月5日(火) 15:00-16:30

<今日の小話>

小山田「“禁PC”を強制して意識改革」

横山「アンドロイドのアプリ26%は悪質なもの、マカフィー調査」

\*MOTについて「日本型技術経験の研究」

・各国に共通するMOTの必要性

「作ったものを売る時代」→「売れるものを作る時代」へ

・MOTとは何か？

TOM(経営技術)とMOT(技術経営)の違い

・MOT教育の目的

1) 経営をわかる技術者(マネージャ)を育てる

2) 技術者の再教育を行う

3) 企業家教育(アントプレナー教育)を行う

・MOT教育の取り組み

→職能横断的なマネジメント技術+技術の深掘り 「T型人間」

・MOT教育とMBA教育の違い

MOT: 技術をベースにして事業を創造し世の中に役立つ

MBA: 企業効率よく経営し成長させ競合に勝ち抜く

・技術戦略

→自社の技術のたな卸、コアテクノロジーを再認識

従来の技術戦略：キャッチアップ(追う側。目標に合わせる。)

これからの技術戦略：フロントランナー(トップに立つ側。ゆえに難しい。)

・イノベーション

→革新型だけではダメ

イノベーション・ポートフォリオ

改善 70%

革新 30%

→改善によって、安定した収入を得る

・売れない製品はマイナスイメージ

割引で販売すると、ブランドのマイナスイメージになるため、定価を作らない。

→”実勢価値”で販売。

・製品開発の競争力の階層

↑ 表層の競争力

深層の競争力

↓ コスト、生産性、生産リードタイム、開発リードタイム、歩留り、不良率

(※いくら売れていても、この土台の部分が重要。)

・3つの障壁の克服手段

魔の川：開発ターゲットを明確にして研究成果を開発プロジェクトへ移す。

死の谷：営業・製造を含めた事業化プロジェクトとして顧客対応体制を明確にしていく。

ダーヴィンの海：事業分野がよく分かっている経営者によるリーダーシップとリスクテキング(管理)。

\*オマケ

やまびーお誕生日おめでとう\(^o^)/